

4回生 必修科目「英語コミュニケーションⅠ」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3 単位
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。				
教科書	Power On Communication English Ⅰ (東京書籍)	副教材	総合英語 FACTBOOK これからの英文法 (桐原書店) 新コメタン1 (アルク) 三訂版 Listening Laboratory Standard α (数研出版)		

1 学習の目標

- (1) 習熟度に応じた英語運用のアクティビティを通し、英語を実際に使える訓練をする。
- (2) コミュニケーションツールとしての英語を駆使して、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

【英語運用の4技能の目標】

聞くこと	○日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 ○社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
話すこと [やりとり]	○日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。 ○社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができる。
話すこと [発表]	○日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 ○社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
読むこと	○日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 ○社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。
書くこと	○日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 ○社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 学習の方法

(1) 授業について

授業は習熟度授業で行っていきます。定期考査ごとにクラス替えをします。授業での取組はもちろんのこと、音読や重要表現の練習など家庭学習でできることは家庭学習でしっかりと行うようにしてください。そのため、今年度の授業は、最初は家庭学習の方法を教科書の英文を用いて確認してから、インタラクティブ(やりとり)をベースとした授業を行っていきます。家庭学習でできることをその後の授業時間で割くことは考えていません。

(2) 予習と復習について

予習は必要としませんので、復習にしっかりと時間を割いてください。復習については、その日の学習内容をもとにして教科書本文を音読したり、学んだ新出単語や重要表現などを必ず家で書いたりして定着するようにしてください。

〈学習アドバイス〉

基本語句や重要表現を覚えることと同じくらい、それらを使うことは重要です。「使う」練習なくして「できる」領域に達することは非常に難しいです。授業の中では積極的に英語を使ってください。また、考査についても「英語を使って何ができるのか」を測るために初見の英文読解や自由英作文を出題します。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身につけているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。外国語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解する。主に、英語を聞いたり読んだりして、中身を理解する能力で評価します。 【定期考査：文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題 発音・アクセント、リスニング 等】
②思考・判断・表現	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。 【定期考査：英作文、語句整序、自由英作文 等】
③主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。 【定期考査：授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文 等】

(2) 評価の方法 (以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する)

観 点	評価材料	定期考査	Communication Workshop	Expression Workshop	Pair Work	Group Work	ワーク等の取組	Essay Writing
①知識・技能		○	○	○	○	○	○	○
②思考・判断・表現		○	○	○	○	○		○
③主体的に学習に取り組む態度		○	○	○			○	○

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合えることができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→③④、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→①

月	単元	学習内容(★のみ記載)	評価の観点(★のみ記載)	考查等	資質・能力
	(Power On Communication English I)				
4	Lesson 3 Nagatomo Yuto – A Long Hard Road to Success	<ul style="list-style-type: none"> サッカー、長友佑都選手 現在完了形、S+V+O[=that 節]、受け身 	<ol style="list-style-type: none"> ①、②自分が経験してきたことについて英語で説明することができる。 ③英語で書かれた長友選手のキャリアについて理解することができる。 ④教科書に提示された文法を理解している。 	春休み明けテスト	ABDF
5	Lesson 4 Kawaii and Japanese Pop Culture ◆単元テスト □Video Conference	<ul style="list-style-type: none"> 世界に広がるカワイイ文化 It is [was]+形容詞+to 不定詞、助動詞、関係代名詞 	<ol style="list-style-type: none"> ①、②和製英語について、英語との違いを説明することができる。 ③海外から見ると日本の良さについて理解することができる。 ④教科書に提示された文法や文構造を理解している。 		ACFLM
6	Lesson 5 Banana Paper 言語 □Video Conference	<ul style="list-style-type: none"> バナナペーパー 分詞の形容詞用法、S+V[=be 動詞以外]+C、S+V+O+C[=形容詞] 	<ol style="list-style-type: none"> ①、②動物保護や環境問題について英語で説明することができる。 ③バナナの歴史やその皮の繊維の様々な用途について理解することができる。 ④補語の特徴を理解している。 	1学期中間考查 GTEC	BCDFM
7	Lesson 6 A Story about Instant noodles 言語	<ul style="list-style-type: none"> インスタントラーメン誕生物語 S+V[=知覚動詞]+O+C [現在分詞] 	<ol style="list-style-type: none"> ①、②世界のアイディア商品を英語で説明することができる。 ③安藤百福の経歴について理解することができる。 ④不定詞及び受け身の文構造を理解している。 	夏休み明けテスト	ABDF
8	◆単元テスト □Video Conference	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞+受け身、S+V[=使役動詞]+O+C [原型不定詞] 			
9	Lesson 7 The Earth, Our Home! 言語 □Video Conference	<ul style="list-style-type: none"> 国際宇宙ステーションでの経験と地球への思い S+appear(s)[seem(s)]+to 不定詞、関係副詞 where、It is[was]+形容詞[名詞]+that 節 	<ol style="list-style-type: none"> ①、②地球について英語で説明することができる。 ③宇宙飛行士の活動について理解することができる。 ④とある情報の詳細を文で表現することができる。 	1学期期末考查	BCFIM
	小学校との英語交流・準備	<ul style="list-style-type: none"> 英語の授業を地域の小学校で行い、交流を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①、②授業の準備や、実際の授業で積極的に参加し、小学生が理解できる英語を用いている。 		AEH
10	Lesson 8 Mr. Fija and Uchinaaguchi 言語 ◆単元テスト □Video Conference	<ul style="list-style-type: none"> 危機に瀕する言語の保存・継承活動 現在完了進行形、関係副詞 when、仮定法過去 	<ol style="list-style-type: none"> ①、②日本の方言について英語で説することができる。 ③比嘉光龍さんの若者へのメッセージを理解することができる。 ④継続している動作や事実と反する事柄についての表現方法を理解している。 	2学期中間考查 GTEC	ACIL
11	Lesson 9 The Power to Unite People 言語 □Video Conference	<ul style="list-style-type: none"> 南アフリカ共和国、マンデラ大統領 過去完了形、未来進行形、分詞構文(現在分詞)、強調構文 	<ol style="list-style-type: none"> ①、②世界の偉人について英語で紹介することができる。 ③ネルソン・マンデラ氏の経歴と功績について理解することができる。 ④論理的なスピーチやライティングの構成を理解している。 	冬休み明けテスト	ABCDF
12	Lesson 10 Carving for the Future 言語 ◆単元テスト □Video Conference	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産サグラダ・ファミリア 関係代名詞の非制限用法、S+V+O+C[=過去分詞]、関係代名詞 what 	<ol style="list-style-type: none"> ①、②自分が興味のある職業について英語で説明することができる。 ③外尾悦郎さんの功績について理解することができる。 ④補語の特徴や叙述用法を理解している。 	2学期期末考查	ADFH